

ミニチュア・ピンシャー
Miniature Pinscher

F C I スタンダード No. 185

■ **原産国**

ドイツ

■ **用途**

家庭犬及びコンパニオン・ドッグ

■ **F C I 分類**

グループ 2 ピンシャー&シュナウザー、モロシアン犬種、スイス・マウンテン・ドッグ&スイス・キャトル・ドッグ、関連犬種

セクション 1 ピンシャー&シュナウザー・タイプ

■ **沿革**

20 世紀の始め頃からすでに多く飼育されており、1925 年のドイツのスタッド・ブックでは 1300 頭もの登録があった。ジャーマン・ピンシャーのように、様々な毛色から、明るめの斑があるブラック、レッド一色からレッド・ブラウンまでの毛色が選択繁殖された。

■ **一般外貌**

ジャーマン・ピンシャーを小さくしたような外貌であるが、矮小したという欠陥はもっていない。優美でスクエアな体躯構成は短いスムース・コートによって明確である。

■ **重要な比率**

- ・ 体長と体高の比率により体躯構成はできるだけスクエアに見える。
- ・ 頭部の長さ（鼻先からオクシパットまでを測定）はトップライン（キ甲から尾の付け根までを測定）の半分の長さである。

■ **習性／性格**

活発で、元気のよい、自信に満ちた穏やかな性格である。こうした特徴が家庭犬及びコンパニオン・ドッグとしてふさわしいものとなる。

■ **頭部（ヘッド）**

□ **頭蓋部**（クラニアル・リージョン）

スカル

堅固で長く、オクシパットは顕著に突出していない。前頭部は平らで皺はなく、鼻梁に対して平行である。

ストップ

僅かであるが、明瞭である。

□ **顔部**（フェイシャル・リージョン）

鼻（ノーズ）

十分に発達し、黒い。

マズル

先が鈍角の楔形である。鼻梁は真っ直ぐである。

唇（リップス）

黒く、滑らかで、顎に対してぴったりとつく。口角は閉じている。

顎／歯（ジョーズ／ティース）

上下顎とも頑丈である。完全なシザーズ・バイト（歯列に沿った 42 本の真っ白

な歯)であり、強固かつしっかりと閉じている。咀嚼の為の筋肉は強固に発達しているが、頬がすっきりとした外観を妨げるほどではない。

■目 (アイズ)

ダークでオーバルであり、アイラインは黒く、眼瞼は密着している。

■耳 (イヤーズ)

立ち耳、垂れ耳、耳付は高く、V字型をしており、耳の内側の線は頬に接し、こめかみに向かって前方に向いている。平行に折れるが、スカル頂点を越えるべきではない。

■頸 (ネック)

優美にカーブし、短すぎない。滑らかにキ甲につながり、付け根は目立たない。ドライで、デューラップやスローティネスはない。喉の皮膚には襞はなく、ぴったりとしている。

■ボディ

トップライン

キ甲から後方に向かって僅かに傾斜している。

キ 甲 (ウィザーズ)

トップラインの最高点を形成する。

背 (バック)

頑丈で、短く、ぴんと張っている。

腰 (ロインズ)

強固。ラストリブから尻までの長さは短く、このため外観がコンパクトに見える。

尻 (クループ)

僅かに丸みを帯び、滑らかに尾の付け根に連なる。

胸 (チェスト)

適度に幅広く、オーバルで、肘に達する。前胸は胸骨端によって明瞭である。

アンダーライン及び腹部 (ベリー)

ひばらは巻き上がり過ぎず、前胸の下側と共に美しいカーブを描く。

■尾 (テイル)

自然な状態で、サーベル尾または鎌尾が求められる。

■四 肢 (リムズ)

□前 軀 (フォアクォーターズ)

一般外貌 (ジェネラル・アピアランス)

前望すると、前脚は頑丈で、真っ直ぐであり、両脚は近接していない。側望すると、上腕は真っ直ぐである。

肩 (ショルダーズ)

肩甲骨は胸郭に接して位置し、十分に筋肉が付き、胸椎の先端を越えて突出している。できる限り傾斜し、よくレイバックしている。水平線に対して約 50 度の角度を形成する。

上 腕 (アッパー・アーム)

ボディに接し、力強く、筋肉たくましく、肩甲骨と 95 度から 100 度の角度を形成する。

肘 (エルボーズ)

ぴったりと接しており、内外向していない。

前 腕 (フォアアーム)

強く、十分な筋肉が付いている。前望及び側望すると完全に真っ直ぐである。

手 根 (カーパル・ジョイント)

丈夫でしっかりとしている。

中 手 (パスターン)

丈夫で弾力性がある。前望すると垂直で、側望すると地面に向かって僅かに傾斜している。

前 足 (フォアフット)

短く、丸く、指趾は緊握しており、アーチしている (猫足)。パッドは丈夫で、爪は短く、ブラックで、丈夫である。

□後 軀 (ハインドクォーターズ)

一般外貌 (ジェネラル・アピアランス)

立姿時は側望すると傾いており、後望すると平行しているが、寄り過ぎない。

大 腿 (アッパー・サイ)

適度に長く、幅広で、しっかりと筋肉が付いている。

膝 (スタイフル)

内外向していない。

下 腿 (ローワー・サイ)

長く、丈夫かつ腱質で、力強い飛節へつながる。

飛 節 (ホック)

角度は顕著で、頑丈で、内外向していない。

中 足 (メタターサス)

地面に対して垂直である。

後 足 (ハインド・フィート)

前足よりもやや長い。指趾は緊握し、アーチしている。爪は短く、ブラックである。

■歩 様 (ゲイト/ムーブメント)

トロッターである。背はしっかりと保持し、歩様はかなり安定している。調和が取れており、自信に満ち、力強く、抑制されない長いストライドである。典型的なトロットはグラウンド・カバリングに富み、リラックスした力強い推進力を伴う流れるような歩様で、前脚は自由に伸びる。

■皮 膚 (スキン)

ボディ全体にぴったりとつく。

■被 毛 (コート)

毛 (ヘアー)

短く、密生し、滑らかで、ピッタリと生えており、はげの斑はなく、光沢がある。

毛 色 (カラー)

- ・ 単色 : ディアー・レッド、レディッシュ・ブラウンからダーク・レッド・ブラウンまでである。
- ・ ブラック・アンド・タン : レッドまたはブラウンの斑のあるラッカー・ブラック (黒漆色)。斑はできる限り濃く、鮮明で、はっきりとしているのが良い。斑は以下の部分に分布する : 目の上、喉の下側、パスターン、足、後脚の内側及び尾の付け根下。胸には2つの均一で明瞭に分かれた三角形がある。

■サイズ

体 高

牡及び牝：25 cm～30 cm

体 重

牡及び牝：4 kg～6 kg

■欠 点

上記の点からのいかなる逸脱も欠点とみなされ、その欠点の重大さは逸脱の程度及び犬の健康並びに福祉への影響に比例するものとする。

- ・ 体躯構成が不格好なもの、または軽いもの。脚が短すぎるもの、または長すぎるもの。
- ・ スカルが重いもの、または丸いもの。
- ・ 前頭部の皺。
- ・ 短いマズル、尖ったマズル、または細いマズル。
- ・ ピンサー・バイト。
- ・ 目が明るいもの、小さすぎるもの、大きすぎるもの。
- ・ 耳付が低いもの、または長い耳、保持が均一でない耳。
- ・ スローティネス。
- ・ 背が長すぎるもの、タックアップしているもの、または弛んでいるもの。
- ・ ローチ・バック。
- ・ 斜尻。
- ・ 長い足。
- ・ ペーシング歩様。
- ・ ハックニー歩様。
- ・ 薄い被毛。
- ・ ローン、背にブラックのトレースがあるもの、ダークなサドルのあるもの、明るい色または淡い色の被毛。
- ・ 1 cm までのオーバーサイズまたはアンダーサイズ。

■重大欠点

- ・ 性相を欠くもの（例：牡犬のような牝犬）。
- ・ 外貌が軽いもの。
- ・ アップル・ヘッド。
- ・ 頭部のラインが平行でないもの。
- ・ 肘が外向しているもの。
- ・ 後脚がボディの下に位置しているもの。
- ・ 後脚が真っ直ぐなもの、または飛節が開いているもの。
- ・ 飛節が外向しているもの。
- ・ 1 cm 超、2 cm 未満のオーバーサイズまたはアンダーサイズ。

■失 格

- ・ 攻撃的または過度のシャイ。
- ・ 肉体的または行動的に明らかに異常なもの。
- ・ あらゆる種類の奇形。
- ・ 犬種タイプを欠くもの。
- ・ オーバーショットまたはアンダーショット、ライ・マウスなど口に見られる欠点。
- ・ 体躯構成、被毛または毛色のような個々の部分に於ける重大な欠点。
- ・ 2 cm 超のオーバーサイズまたはアンダーサイズ。

- 注：
- 牡犬は明らかに正常な2つの睾丸が陰嚢内に完全に下降していること。
 - 機能的かつ臨床的に健全であり、その犬種のタイプを有している犬のみが繁殖に使用されるべきである。